

ドイツ精神医療視察の旅 2016



～ベートルの活動から学ぶ総合的な障害者福祉～



専門領域に優れた通訳者現地合流

旅行代金確定版



※写真は全てイメージです。

福祉の町ベートルで行われる障害者支援のさまざまな取り組みについて直接学び得る、大変貴重な視察研修となります。またハノーバーで活動している精神クリニックの訪問も予定しています。

研修期間： 2016年6月27日(月)～7月3日(日) 7日間

訪問都市： ドイツ/ビーレフェルト、ハノーバー

募集人数： 20名(最少催行人数15名)

旅行代金： 449,000円(エコノミー座席、2名1室利用)

※空港使用料、現地空港税、燃油サーチャージ等の諸費が別途必要です。

◇早得キャンペーン◇ 期間延長しました!

4月28日(木)までに本研修参加お申し込み手続き(書類提出および申込金入金)が完了された場合、上記旅行代金より10,000円割引させていただきます。※先着10名様まで、全行程参加の方のみ※

募集締切： 2016年5月16日(月) ※応募状況などにより前後する場合がございます。

同行解説： 鳥取県立厚生病院 精神科医長 兼 精神保健福祉センター医長
国立病院機構鳥取医療センター「積極的訪問チーム AOT」精神科医

植田 俊幸 先生



植田先生よりお誘いの言葉

ドイツの精神保健と障害者福祉について、ベートルの視察を通じて学びましょう。ベートルは、てんかんを持つ人々をケアするための社会奉仕事業として、1867年に創られました。「誰でも人としての尊厳を持ち、社会貢献が出来る」という理念に基づいて、現在ではさまざまな障害者のみならず、高齢者やホームレスなど、社会活動に困難を持つ人々が共生する大きな街になっています。日本からも1993年に天皇・皇后両陛下が訪問されるなど、活動は世界に広く知られています。歴史と実践を知ることで障害福祉のあり方を考える良い機会となることでしょう。

<研修企画> 国際治療教育研究所
<受託販売> 株式会社リバティ・インターナショナル

企画実施 株式会社トラベルプラン
(観光庁長官登録旅行業第566号)(社)日本旅行業協会正会員

パンフレットは
右のQRコード
からもDL可です!



お問い合わせ 株式会社リバティ・インターナショナル ツアーコード: 16-011 担当: 縄手/金子
TEL: 03-6459-0671 FAX: 03-3436-5808 Email: info@iiet.co.jp URL: <http://www.iiet.co.jp>

パンフレットご希望の方は下記ご記入後、03-3436-5808 までFAXにてご送信くださいませ。確認が取れましたら、お知らせいただきましたご住所宛てにパンフレットを送付いたします。

フリガナ	男	職業	TEL	()	-
名前	女		FAX	()	-
			携帯	()	-
フリガナ					
資料送付先住所 (自宅・勤務先)					
〒					
(勤務先名:					
Eメール:	@				

この研修をお知りになったのは? 紹介()様 DM 広告 HP その他()

ドイツ精神医療視察の旅 2016 ～ベートルの活動から学ぶ総合的な障害福祉～ 日程予定 2016/04/18

日数	月日	都市	時間	スケジュール内容
1	6/27 (月)	羽田 フランクフルト ハノーバー	11:00 14:05 18:50 21:50 22:40	羽田空港国際線ターミナル指定場所で参加者集合、手続き、ミーティング 羽田空港出発、ルフトハンザ航空 LH717 にて一路ドイツへ フランクフルト空港到着、入国審査などの手続き後にフライト乗継 フランクフルト空港出発、ルフトハンザ航空 LH58 にて一路ハノーバーへ ハノーバー空港到着、専用車でハノーバー市内ホテルに移動して、ホテルにチェックイン 〈ハノーバー泊〉
2	6/28 (火)	ハノーバー ビーレフェルト	朝 終日	ホテルをチェックアウト、専用車でベートルに移動 ※約 2 時間 v. Bodelschwingh Foundation Bethel 訪問① -施設および組織の紹介、活動概要、これまでの歩みと今後の展望 -精神科治療の現状 -障害者支援、てんかん患者支援、脳損傷患者支援、高齢者支援、社会活動が困難な若者支援、ホームレス者支援など様々な支援活動の実際 -スタッフ業務内容と育成方法 -運営方針とケアプランマネージメント ビーレフェルト市内ホテルにチェックイン 〈ビーレフェルト泊〉
3	6/29 (水)	ビーレフェルト	終日	v. Bodelschwingh Foundation Bethel 訪問② -MOSES プログラム、神経心理訓練、患者や家族へのカウンセリング -職業訓練と社会リハビリテーション -てんかんセンターや障害者医療センター、職業訓練施設および実習場、作業所、保護工場、ゲストハウス(家族用)などの見学 -自助グループサポート、多種協働コミュニティネットワーク -質疑応答およびディスカッション 〈ビーレフェルト泊〉
4	6/30 (木)	ビーレフェルト ハノーバー	07:00 09:00	ホテルをチェックアウト、専用車でハノーバーに移動 ※約 2 時間 精神医療クリニックで世代別ケア、アウトリーチ活動の実際について(予定) ハノーバー市内ホテルにチェックイン 〈ハノーバー泊〉
5	7/01 (金)	ハノーバー	午前 午後	半日ハノーバー市内観光 (市庁舎、ライネ城、歴史博物館、マルクト教会、オペラハウス、クレプケ、ハノーバー大学、ヘレンハウゼン王宮庭園など) ※車窓観光含む 半日自由行動 〈ハノーバー泊〉
6	7/02 (土)	ハノーバー フランクフルト	午前 12:00 15:00 16:00 18:05	各自自由行動およびホテルをチェックアウト 専用車でハノーバー空港に移動、荷物検査および搭乗手続き ハノーバー空港出発、ルフトハンザ航空 LH57 にて一路フランクフルトへ フランクフルト空港到着、手続き後にフライト乗継 フランクフルト空港出発、ルフトハンザ航空 LH716 にて一路帰国へ 〈機内泊〉
7	7/03 (日)	羽田	12:15	羽田空港到着、ロビーで一旦集合後に解散

航空会社: ルフトハンザ航空(LH)
 宿泊ホテル: 〈ハノーバー〉 ドルメロ・ホテル、メルキュール・ホテル・ミッテ など
 〈ビーレフェルト〉 アルカディア・ホテル、メルキュール・ホテル・シティ など
 食事条件: 朝食のみ
 現地移動: 現地空港～宿泊ホテル間、ホテル(視察先)～視察先間は専用車移動
 視察通訳: 現地合流
 添乗員: 日本出発から帰国まで同行



◇◇上記全ての内容およびスケジュールは諸事情により急遽変更になる場合がございます◇◇

ベートル(v. Bodelschwingh Foundation Bethel)とは？

福祉の町ベートルは世界最古かつ最大のてんかんセンターとして現在知られている。元々は労働場所や生活空間の提供が主な支援内容であったが、てんかん治療病院の開設、外来往診や外科治療の開始など医学の進歩とともに、その規模を徐々に拡大していき、今では入院、外来施設のみならず、患者や家族のための支援センターや長期リハビリ用の居住施設、就労支援を目的とした職業訓練校および社会リハビリテーション施設、作業所および保護工場、てんかん研究協会による生化学研究所などのさまざまな医療、福祉施設を有している。また職員住居や郵便局、美容院、スーパーといった、生活する上で欠かせない施設や一般企業とも混在しながら、道路のへだたりも無い、オープンな環境を提供している。